

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村名	計画期間	事業実施期間
長与・時津町地域	長与町、時津町	平成24年度～平成28年度	平成24年度～平成28年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (平成22年度)	目標 (割合※1) (平成29年度) A	実績 (割合※1) (平成29年度) B	実績B /目標A
排出量	事業系 総排出量	2,650 t	2,329 t (-12.1%)	4,764 t (179.8%)	204.6%
	1事業所当たりの排出量	0.98 t	0.86 t (-12.2%)	1.83 t (186.7%)	212.8%
	家庭系 総排出量	15,583 t	14,082 t (-9.6%)	16,465 t (105.7%)	116.9%
	1人当たりの排出量	180 kg/人	160 kg/人 (-11.1%)	194 kg/人 (107.8%)	121.2%
	事業系家庭系総排出量合計	18,233 t	16,411 t (-10.0%)	21,229 t (116.4%)	129.4%
再生利用量	直接資源化量	820 t (4.5%)	705 t (4.3%)	741 t (3.5%)	105.1%
	総資源化量	4,467 t (24.5%)	4,549 t (27.7%)	5,629 t (26.5%)	123.7%
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	— MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	12,437 t (68.2%)	12,069 t (73.5%)	15,529 t (73.1%)	128.7%
最終処分量	埋立最終処分量	1,895 t (10.4%)	359 t (2.2%)	351 t (1.7%)	97.8%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成22年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績B /目標A
総人口		72,643	74,654	71,762	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	70,637	72,565	70,518	97.2%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	97.2%	97.2%	98.3%	101.1%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0%	0%	0%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	821	1,042	862	82.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.1%	1.4%	1.2%	86.1%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	1,185	1,047	382	36.5%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間	施策の実績
					(事業計画期間)	
発生抑制、再使用の推進に関するもの		ア. 有料化の継続	長与町、時津町	ごみ処理費用の公平負担や経済的動機付により、排出者のごみ問題に対する関心を深め、ごみの排出抑制を図る。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 有料化を継続することにより家庭からの廃棄物の抑制に寄与している。 [時津町] 排出抑制、再生利用の推進、排出量に応じた費用の公平性を考え、処理費用の一部をごみ処理手数料として徴収している。
		イ. 環境教育・啓発活動の充実	長与町、時津町	住民、事業者に対してごみの減量化、再利用及び再資源化、ごみの適切な出し方に関する啓発を徹底する。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] ・イベントや現場にて適宜、教育及び指導を行った。 ・転入者へのごみの分別方法の説明の実施。 [時津町] ・ごみ減量に関する啓発を広報誌等により実施。 ・転入者へのごみの分別方法の説明の実施。 ・ごみ分別強化月間(5月・10月)の実施。
		ウ. マイバッグ運動・レジ袋対策	長与町、時津町	過剰包装の抑制方策を検討するとともに、消費者、販売業者に対し啓発を行っていく。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 広報誌等で消費者へ普及活動を行った。 [時津町] 広報誌等でレジ袋削減及びマイバッグの普及に向けて啓発を行った。
		エ. 庁用品、公共関与事業における再生品の使用促進	長与町、時津町	庁用品に関して再生品等を使用するとともに、公共事業等においても再生品等の使用を推進していく。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 関係各課に再生品等の利用促進を図った。 [時津町] 町発注の公共工事において、長崎県認定リサイクル製品の使用を一部義務付けた。
		オ. 生ごみ処理機等への助成金の継続	長与町、時津町	家庭から排出される生ごみの減量化を目的とし、生ごみ処理機等の購入に対する助成を継続していく。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 128件 1,954,500円 [時津町] 95件 913,300円

	カ. 集団回収の推奨	長与町、時津町	自治会等で実施されている資源物の回収(集団回収)を積極的に支援するため、集団回収への助成を継続していく。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 自治会回収及び諸団体の回収に対し助成金援助の拡充を行った。 [時津町] 古紙リサイクル事業について集団回収を実施。
	キ. 生活排水対策	長与町、時津町	生活排水対策に関する啓発活動を行う。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 下水道計画区域外において、浄化槽を設置する際の補助金交付に関する啓発を行った。 [時津町] 下水道計画区域外の浄化槽については、町設置管理型浄化槽事業を継続している。
処理体制の構築、変更に関するもの	ア. 家庭ごみにおける新たな分別区分の検討	長与町、時津町	熱回収施設の整備を進めていく上で、効率的な処理体制を確立することを目的として、新たな分別区分を検討する。	平成24年度 ～平成26年度	[長与町][時津町] 構成町で協議を行い、新たに整備した熱回収施設クリーンパーク長与の稼働とともに分別区分の変更を行い統一化を図った。
	イ. 事業系一般廃棄物の排出事業者の処理計画策定	長与町、時津町	直接搬入された廃棄物は処理手数料を受け取って中間処理する。同時に、多量排出事業者に対しては、必要に応じて減量化計画の策定を指導していくなどの排出抑制対策を行う。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町][時津町] 両町の一般廃棄物処理基本計画に従い、事業系一般廃棄物の排出抑制の協力を推進。
処理施設の整備に関するもの	1 (仮称)長与・時津環境施設組合エネルギー回収推進施設整備事業	長与・時津環境施設組合	旧清掃工場の廃止に処理施設を整備し、エネルギー回収の推進及び最終処分量の削減を図る。	平成24年度 ～平成26年度	[長与・時津環境施設組合] 平成27年3月末に長崎県西彼杵郡長与町斉藤郷に処理能力54t/日の熱回収施設クリーンパーク長与の建設が完了し同年4月より稼働を開始した。
	2-1 浄化槽整備事業	長与町	生活排水による公共用水域の水質汚濁防止のため、浄化槽を整備する。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 浄化槽設置費補助の実施。 補助実績 6基 (内訳) ・平成25年度 4基 ・平成26年度 1基 ・平成27年度 1基 ・平成28年度 0基

	2-2	浄化槽市町村整備推進事業	時津町	浄化槽市町村整備事業を今後も継続して進めることにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を行う。	平成24年度 ～平成28年度	[時津町] 浄化槽の設置及び維持管理を実施。 整備実績 20基 (内訳) ・平成24年度 4基 ・平成25年度 6基 ・平成26年度 6基 ・平成27年度 2基 ・平成28年度 2基
施設整備に係る計画支援に関するもの	3	施設整備に関する支援事業	長与・時津環境施設組合	(仮称)長与・時津環境施設組合 エネルギー回収推進施設整備事業の発注のため計画支援事業を実施する。	平成24年度 ～平成25年度	[長与・時津環境施設組合] 熱回収施設整備に向けて総合評価一般競争入札による事業者選定を行うための総合評価、技術提案書審査、事業者選定委員会運営及び契約書等作成業務を委託した。
その他		ア. 再生利用品の需要拡大事業	長与町、長与・時津環境施設組合	草木類の堆肥化を実施するとともに、堆肥の需要拡大に努め、積極的に草木類の堆肥化を図っていく。	平成24年度 ～平成28年度	[長与・時津環境施設組合] 平成26年度まで時津クリーンセンターで実施していた草木類の堆肥化は平成27年度からは新たに稼働開始したクリーンパーク長与整備した堆肥ヤードに継続して実施し、希望者に配布している。
		イ. 廃家電等のリサイクルの推進	長与町、時津町	廃家電等のリサイクルについては、関係法令に基づいて、適切な回収又は再商品化がなされるよう、構成町が関係団体や小売店等と協力して啓発を推進していく。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 小売店での状況把握を行い、同時に啓発活動を行った。また、国が推進している「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加している。 [時津町] ごみ分別カレンダーや広報誌等で啓発を実施。また、国が推進している「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加している。
		ウ. 分別の徹底及び不法投棄対策等の強化	長与町、時津町	地域の自治会等と一体となり分別の徹底を進めていくとともに、不法投棄対策として関係機関と連携しパトロールなどを強化していく。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 町職員及びシルバー人材センターにおいて啓発活動及びパトロールを実施した。 [時津町] 保健所及び警察署と連携し不法投棄パトロールを実施。
		エ. 災害時の廃棄物処理に関する事項	長与町、時津町、長与・時津環境施設組合	仮置場の設定、処理方法等を具体化するため、関係機関での協議を進めるとともに、災害時における周辺自治体との円滑な連携が図られるよう体制を整える。	平成24年度 ～平成28年度	[長与町] 一般廃棄物処理基本計画内において必要事項を検討した。 [時津町] 災害発生時において構成町との連携を図り、廃棄物処理を速やかに行っていく。

3 目標の達成状況に関する評価

1. ごみ排出量、再生利用量、減量化量及び最終処分量の実績と目標達成状況

(1) 排出量

- ①事業系ごみ排出量については、目標値2,329tに対し、実績では4,764tに留まっており、目標値と比較すると204.6%であり、目標を達成することができなかった。
- ②家庭系ごみ排出量については、目標値14,082tに対し、実績では16,465tに留まっており、目標値と比較すると116.9%であり、目標を達成することができなかった。

(2) 再生利用量

- ①直接資源化量については、目標値705tに対し、実績は741tであり目標値と比較すると105.1%であり、目標を達成することができた。
- ②総資源化量については、目標値4,549tに対し、実績は5,629tであり目標値と比較すると123.7%であり、目標を達成することができた。

(3) 減量化量

- ①中間処理による減量化量については、目標値12,069tに対し、実績は15,529tであり目標値と比較すると128.7%であり、目標を達成することができた。

(4) 最終処分量

- ①埋立最終処分量については、目標値359tに対し、実績は351tであり目標値と比較すると97.8%であり、目標を達成することができた。

2. 生活排水処理

- (1) 公共下水道については、目標値72,565人(普及率97.2%)に対し、実績は70,518人(普及率98.3%)であり、目標を達成することができた。
- (2) 合併処理浄化槽等については、目標値1,042人(普及率1.4%)に対し、実績は862人(普及率1.2%)であった。下水道による整備拡大により、相対的に浄化槽による普及率は低くなっているものの、下水道の整備が困難な地区等において浄化槽の整備を進め、地域全体の普及率は99.5%となり、目標の98.6%を達成した。
- (3) 未処理人口については、1,047人に対し、実績は382人であり、目標を大きく上回って達成することができた。

3. 各目標において、達成できなかった理由及び今後の改善計画書については、別添様式第10「改善計画書」を参照のこと。

(都道府県知事の所見)

(ごみ処理)

排出量については、事業系、家庭系ともに目標未達成であり、特に事業系の実績値については目標値を大幅に下回っている。今後は、事業系ごみの排出抑制対策について、現状と課題を分析・整理したうえで、より効果的な対策を講ずるほか、家庭系ごみについては、現状分析等を実施したうえで、これまで取組んでこられた、紙ごみ、生ごみ等のリサイクル対策の強化を図りながら、課題とされている食品ロス対策への取組みについて検討いただきたい。

(生活排水処理)

生活排水処理については、下水道と浄化槽の連携した整備により目標を達成している。継続して、残されている未処理人口の解消に努めていただきたい。